

文化情報学科の学びの概念図

グローバルに考え、ローカルに活動する人材を育成します。【専門科目】では、文化のあり方や人間がいかにか文化を受け継ぎながら生きているのかを学びます。【文化情報研修】科目群はフィールドワークを重視、【文化情報プロジェクト科目群】では少人数のゼミ形式で日本語表現力を高め、卒業後も生かせる実践的な能力を磨きます。

基礎科目

人間と世界の理解	哲学、読書と豊かな人間性、市民社会と図書館、人間と自然 など
保健体育	健康スポーツ概論、健康スポーツ など
ライフデザイン	キャリア・プランニング、インターンシップ、キャリア・アップ講座 など
情報リテラシー	情報基礎、プログラミング入門、情報処理演習、情報サービス論 など

専門科目

文化情報プロジェクト	基礎ゼミナール ゼミナール(卒業研究)	文化情報表現法 メディアコンテンツ制作 文化情報誌制作
日本と世界の文化	民俗学、文化人類学、日本文化論、英米・東アジアの社会と文化、日本近代文学、英米文学 など	
言語と文化	日本の言語と文化、英米の言語と文化、中国の言語と文化、韓国の言語と文化 など	
文化資源の活用	しまね文化探求、異文化理解演習、文化とガイド、へるん探求、地域資源演習、情報と社会、情報資源概論、しまね図書館学 など	
文化情報研修	しまね文化情報研修、海外文化情報研修 など	

司書科目

図書館情報学概論、情報サービス演習、図書館実習 など

Diploma Policy (学位授与方針)

知識・技能

- 島根、日本および世界の文化に関する基礎的な知識を身に付けている。
- 情報化に対応したコンピュータの基礎的な技能を身に付けている。
- 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力を身に付けている。

思考力・判断力・表現力

- 文化情報学科における幅広い学びの中から、主体的に課題を設定することができる。
- 設定した課題について、自らが思考・判断・表現するために必要な、日本語の基礎的な能力を身に付けている。

関心・意欲・態度

- 身の回りの地域で生起している諸課題と主体的にかかわる態度を身に付けている。

取得可能な資格

司書(図書館司書)